

協会運営の基本的な考え方

(第1回理事会(2021/4/17)理事会で説明、了承済)

イ、前例踏襲を基本に、改善改革案は積極的に取り入れます

PC、スマホ、LINEなどのツールを積極活用し協会運営に活かしたい、理事会メンバー全員が理事グループLINEに参加し、スピーディーな情報共有を実現。

ロ、具体的な見直し

①理事会の開催曜日・場所の見直し…通常大会8日前の(土)に体育館2階スポーツ相談室(コロナ禍以前はガレリア2階研修室)で開いていたが、手続きが大変だった(前期担当者の意見)との声があり、西台卓球場から「日曜の夜であれば卓球場を使っても構わない」と申し出あり、理事会で合意し、5月理事会から日曜日午後7時～9時に変更した。

②京丹波(マロン)、園部(卓友会)出身理事への交通費補助の見直し…遠方から理事会に参加ということもあり年度末に7千円交通費を補助しているが、今年度から廃止し会計状況が改善されれば理事全員に「行動費補助」として定額一律に支給するようにしたい…理由:亀岡のクラブ出身者で京丹波町から来ている人もいた。今後京都市内・大阪の会員が理事になる可能性もある

ハ、各大会開催に当たっては可能な限り合理的、効率的な運営をめざす

①種目の整理…市民大会ダブルスの廃止…運営の簡素化、口丹波大会2～3人団体は3～4人団体に…審判不在のリーグ戦解消のため

②トーナメントは決勝トーナメントと3.4位トーナメント2種類に統一する…運営の簡素化、賞品購入の節約

③シングルス戦は全て3位決定戦を行わず上位4者を表彰する…大会運営上最後まで敗者審判で可能になる(賞品個数は増えるが)

④団体戦は3位決定戦を行い上位3者を表彰…相互審判が可能、賞品購入の節約

⑤クラス分けは全てABCの3クラスとし、中学生以下の部があるシングルス大会(市民・平和祭)で中学生以下が一般の部に出場を希望する場合はB級以上とする

⑥小学生の出場希望者は中学生以下の部へのエントリーを基本とするが、一般の部へ出場を希望する場合は、中学生と同じ扱い(B級以上)とする

⑥小学生の出場希望者は中学生以下の部へのエントリーを基本とするが、一般の部へ出場を希望する場合は、中学生と同じ扱い(B級以上)とする

⑦昨年度開催要項に掲げた男女一緒エンジョイの部は、平和祭大会で男子4名、女子1名の申し込みであったが、結果的にはコロナで中止した。今年度も市民大会で男子4名、女子1名の申し込みがあった。もう一度平和祭大会では募集をかけて様子を見たい

⑧研修会以外の各種大会では「赤字」を出さない、賞品については参加費に見合ったものとする

⑨入賞者写真は喜ばれている半面、今の時代「紙プリント」不要の声もある。プリントし郵送する手間と費用が必要、協会HPへの掲載に切り替える(了解を得た選手のみ)

理事会 備忘録

理事会日	項目	内容
4月17日	写真	表彰時の写真はホームページ掲載可能な方だけ撮影して、プリントはしない
4月17日	大会	大会で級の参加者人数5人以下は、統合対象
4月17日	備品係	ピン球の準備は使用台数×2個
5月30日	大会	警報発令時の大会中止基準 警報が7時に発令されている時は、中学生以下の部は中止 一般の部に出場している中学生も、参加は認めず参加費を返金する 上記以外の一般の部は、体育館使用出来る場合は、警報が発令されていても開催する
5月30日	大会	盾は、市民大会と平和祭の中学生の部の1～3位までに贈呈する。他は全て商品券にする 開催が中止になりそうな場合は、盾は開催後に発注して、後日届ける
5月30日	賞品係	商品券は、イオンカードまたはクオカード 商品券と盾の総額は、参加費の25%を目安にする